

堀川史跡地図



① 堀川の終点
ここで金山川と合流し、洞海湾へ



② 折尾駅近くの堀川



④ 山の鼻の井堰跡
堀川には中間、寿命、のほかに3か所の井堰がありました。井堰は堀川16ヶ村のかんがい用水を確保するとともに「川ひらた」の航行にも利用されました。

③ 遠賀川(堀川)疎水碑
堀川開削工事の経過と、その工事を指揮した一田久作の功績が記されています。



⑤ 川ひらた保存地(折尾高校内)
かつて堀川を行き来した「川ひらた」が、付属の船具とともに保存されています。

⑥ 堀川 吉田・大膳間切貫
堀川の開削工事の中で一番の難所といわれたところ。かたい岩山を削っていく工事は、すべて人の力でなされました。今でも崖面にのこるタガネなどの工具あとを見ることができます。平成17年の調査では、線刻文字も発見されています。



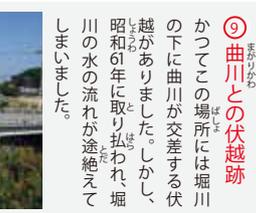
⑦ 河守神社とその前の堀川
川の神様が奉られた神社。川ひらたをあやつる船頭たちの信仰を集めた。明治頃は、石炭運送でたいへんな賑わいでした。この先が難所といわれた吉田車返の切貫です。



⑧ 吉田川の伏越
堀川の下に吉田川が流れるように川の立体交差をしようとする。江戸時代のすぐれた技術でつくられており、歴史的にとっても重要なものです。



⑨ 曲川との伏越跡
かつてこの場所には堀川の下に曲川が交差する伏越がありました。しかし、昭和6年に取り払われ、堀川の水の流れが途絶えてしまいました。



⑩ 車屋井堰跡
堀川の取水口づくりの候補地だったところ。地盤が弱かったため、中間の惣社山に移され、今は石材だけがのこされています。



⑫ 笹尾川との合流点
今も楠橋一帯の田畑をうるおして流れています



⑪ 中間唐戸(県指定文化財)
最初につくられた取水口です。備前国吉井川の唐戸を参考にしています。

⑬ 寿命の唐戸(楠橋)
[市指定文化財]
中間の唐戸への水の流れをよくするために造られた遠賀川の東西の堰の影響で、川上の村々に度々洪水がおこりました。そのためこの場所に取水口が移されました。

⑭ 堀川のはじまり
ここから流れ込んだ水は最初の水門「寿命の唐戸」へ

